

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	駐車場管理運営費							
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 施 設 係		作成者	戸堀忠俊		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ		
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし						
	主要施策	観光客受入態勢の整備				29		
予 算 費 目	一般	会計	7 款	商 工 費	1 項	商 工 費	3 目	観 光 費
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度			新規／継続の区分			継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理							
根 拠 法 令 等	なし							
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	観光客と観光産業に携わる市民のために駐車場を提供する。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	観光客を増加させ、観光産業の発展を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	駐車場の維持管理業務を実施する。料金徴収及び管理員雇用する。 案内看板設置、繁忙期仮設トイレ設置・清掃業務実施する。

【事務事業の推移】

項 目		単 位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
効 果	活動指標	目標	244	244	244
		実績	244	244	244
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%
	成果指標	目標	45,000	45,000	45,000
		実績	48,426	40,433	40,357
		達成度	107.6%	89.9%	89.7%
投 下 コ ス ト	項 目	総事業費	18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)
	事業費（人件費を除く）(A)		15,192	18,314	19,355
	人 件 費 (B)	—	1,571	1,614	793
	職 員 数	—	0.20	0.20	0.10
	職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	7,925
	(A) + (B) 投下コスト		16,763	19,928	20,148
	財 源 内 訳				
	国 庫 支 出 金				
	県 支 出 金				
	地 方 債				
	そ の 他		16,763	19,928	20,148
単 位 コ ス ト	一 般 財 源		0	0	0
	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	68,701	81,672	82,574
	市民1人当たりのコスト(円)	—	526	634	649

【事務事業の今までの成果】

仙北市を訪れる観光客のために駐車場（４月～１１月）を確保しているので、観光バスツアー客が増えた。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	ビジットキャンペーンや観光庁の設置など観光に対する積極的な姿勢が出てきている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	駐車場を確保することにより、違法駐車・迷惑駐車・道路の渋滞が少なくなった。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	仙北市を訪れる観光客のために継続的に確保する必要があるため。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	観光シーズンの渋滞緩和及び観光客受入態勢の充実のために不可欠な業務ですが、市が設置する駐車場（臨時駐車場を含む）の使用料金の取扱いが統一されていないことにより効率的な業務遂行の妨げになっているため、早急に改善が必要があると考えます。

一次評価診断図

